

妊懐ごさま子雅

宮内庁が正式発表

宮内庁の古川清・東宮大夫は十五日午後五時半から、宮内庁で記者会見し、皇太子妃雅子さま(37)の懐妊を正式に発表した。

東宮大夫によると、雅子さまは住まいの東宮御所で医師の診

察を受けた結果、最終的に妊娠が確認された。体調は良好という。

出産予定は十二月上旬ごろとみられる。懐妊の確認は発表に先立ち天皇、皇后両陛下に報告された。

宮内庁は出産に向けて東宮職御用掛の堤治・東大教授(産婦人科)を中心に、万全の態勢で雅子さまの体調を見守る。

男児が生まれれば、皇太子さまに次いで皇位継承順位第二位の皇族となる。両陛下にとって秋篠宮ご夫妻の長女眞子さま(9)と二女佳子さま(6)に続く三人目の孫となる。

雅子さまは三月末ごろから妊娠の兆しがあり、四月四日から予定されていた京都府訪問や十日のリトニア大統領夫妻を迎えての皇居での昼食会出席を相次いで取りやめた。園遊会や沖縄県訪問を間近に控えた同月十六日、宮内庁が「懐妊の可能性が出てきた」と発表していた。

雅子さまは、今後、地方訪問を取りやめるなど、公務を最小限に絞って出産に備え、宮内庁病院に入院して出産することになる。

